

【受託事業】

「宮崎市子どもアート創作展開催業務」

2019年6月～2020年1月

〔事業目的/内容〕

アーティストと共に作品を制作するワークショップを開催することで、子どもたちが日常生活及びその延長線上で身近で気軽に文化芸術を鑑賞、体験できる機会を提供するとともに、次代の担い手の育成をはかる。

〔実施内容〕

名 称：子どもアートフェスティバル プレイベント「オシャレイワ～青島 Ver.～」

(青島ビタミンプロジェクトの1ブースとして開催)

日 時：令和元年9月14日(土) 10:00～16:30

9月15日(日) 10:00～16:00

場 所：青島南参道広場

内 容：

9月14日(土) 10:00～13:00

「障子紙でおしゃれをしよう」

椎 俊一(造形作家)・原井静香(デザイナー)

13:30～16:30

「帽子をつくろう」

酒井美由紀(キッズアートインストラクター)・原井静香(デザイナー)

9月15日(日) 10:00～16:00

「おしゃれな靴をつくろう」松下太紀(造形作家)

「アクセサリーをつくろう」後藤麻夫(立体造型作家)

参加者数：延べ315名



名 称：子どもアートフェスティバル -オシャレイワ OSHARE IWA-

日 時：令和元年10月20日（日）11：00～16：00

場 所：宮崎科学技術館 多目的ホール

内 容：

「障子紙でおしゃれをしよう」

椎 俊一(造形作家)

「アクセサリーをつくろう」

後藤麻夫(立体造型作家)

「帽子・ヘアアクセサリーをつくろう」

酒井美由紀 (キッズアートインストラクター)

「バッグをつくろう&リメイクしよう」

樺島優子 (テキスタイルアーティスト)・大野匠 (彫刻)

「王子様&お姫様になろう」

原井静香 (デザイナー)

「Tシャツデザイン&リメイクしよう」

宮崎県立佐土原高校産業デザイン科の生徒（4名）

その他：

自分で創った作品を他の参加者に見てもらうため、ランウェイを歩き披露する。

参加者数：521名

### 【アンケート集計】

集計数 64組（子ども109名・大人82名）



### [所 感]

青島でのプレイベントでは、初日が雨にもかかわらず、たくさん子どもたちが参加してくれた。特に15日のワークショップは、どちらも人気が高く、講師も休む暇なく作品作りに対応して頂いた。

本祭は、朝から来場者が多く、どのブースも満席となり行列のできる場所もあった。今年は、高校生にも講師になって頂くことで、新しい発想との出会いや高校生にとっても参加者との触れ合いがあり、どちらにとっても良い体験になったと思う。また、自分で創った作品を身に着けランウェイを歩いた子どもたちは、恥ずかしがる子どももいたが、音楽に合わせて、みんなから拍手をもらってとても嬉しい表情をしていた。

今回、日常生活の延長線上に文化・芸術を感じることを目的としていたが、このように身に着けるものを自分の好きな形に表現していくことがアートだということ、アートは特別なものではなく当たり前にあるものとして少しでも身近に感じてもらえたのではないと思う。